

令和元年度大阪府立大学校友会第1回理事会議事録

令和元年度大阪府立大学校友会第1回理事会が、令和元年6月22日(土)午前11時より、「I-site なんば」C1にて校友会評議員会と同時開催された。

議事に先立ち、事務局から理事会の成立要件を満たしている旨の報告があり、理事会の成立を確認した後、津戸会長及び辰巳砂学長の挨拶があり、津戸会長が議長となって議事に移った。

《議事》

1. 新規加入同窓会について

議長から資料1に基づき提案がなされた後、事務局から説明があり、原案のとおり了承された。

2. 校友会会則の一部改正について

議長から資料2に基づき提案がなされた後、事務局から説明があり、原案のとおり了承された。

3. 役員の交代等について

議長から資料4に基づき提案がなされた後、事務局から説明があり、原案のとおり了承された。

4. 校友会入会状況について

事務局から資料5に基づき、平成30年度の校友会入会状況について説明があった。

5. 平成30年度事業・収支決算について

事務局から資料6-1に基づき、平成30年度に実施した校友懇話会、卒業生による就職セミナー(卒業生との懇談会)、夢こもんず等の事業について報告がなされた後、乾会計理事から、資料6-2に基づき平成30年度の収支決算等について報告、そして矢本監事から資料6-3に基づき監査報告がなされ、それぞれ了承された。

6. 校友会支援金取扱要項の一部改正について

議長から資料7に基づき提案がなされた後、事務局から説明があった。

山田評議員(東京同窓会)から、「地域同窓会に対する支援金を増額していただきありがとうございます。ただ、地域同窓会は、会員の把握が難しいため会費の徴収が、他の単位同窓会に比べて十分出来ていない状況にあり、財政状況が脆弱であることを理解していただき、支援要項第3条第1項第1号の上限額を増額していただきたい。」という意見が出された。その意見に対して、津戸会長から、「今年については、原案通りの改正を行い、予算状況を見ながら、支援内容を検討していきたい。」という回答があり、原案のとおり了承された。

7. 令和元年度事業計画について

議長から資料8に基づき、令和元年度事業計画について提案がなされた後、1～11の項目について事務局から説明があり、原案のとおり了承された。

8. 令和元年度予算について

議長から、資料9に基づき、令和元年度予算について提案がなされた後、事務局から説明があり、原案のとおり了承された。

9. 第10回ホームカミングデー2019に合わせた同窓会行事の開催について

事務局から、資料10に基づき、令和元年11月3日(日)に実施するので、第10回ホームカミングデーに合わせた単位・地域同窓会行事の開催についてお願いがあった。また、昨年と同様に併設展示も行いたい旨の報告があった。

10. その他

(1) 上田卒業生室長から「つばさ基金」の寄附実績、活用事例等について、報告がなされた。


(2) 今回の評議員会議事録署名人として梶野昌利監事及び藤田勝久理事が指名された。

(3) その他(役員・評議員からの意見)


仁科副会長：大阪女子大学同窓会斐文会結婚相談室については、大阪女子大学同窓会斐文会の運営から、斐文会会員の有志の運営になったことを報告します。

《議事録署名人》

大阪府立大学校友会理事会議長(会長)

津戸正広 

大阪府立大学校友会監事

梶野昌利 

大阪府立大学校友会理事

藤田勝久 